

第2510地区 第11グループ



2010~2011

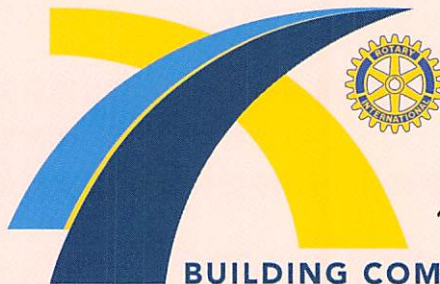
The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2010~11年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ



2010~11年度
国際ロータリー会長

レイ・クリンギンスミス

Ray Klinginsmith

BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

阿部誠太 会長 テーマ —— ロータリー精神の初源に帰ろう ——



4月20日 市役所出前講座 臨海研究所(企画部企画管理課) 藤田 秀樹 氏

《第2287回例会》 第38号 4月27日(水)

本日のプログラム

夜間例会「クラブアッセンブリー」

於 函館国際ホテル 午後6時30分～

★会長 阿部誠太 ★幹事 増山 正

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

当社は販売のプロ集団！
厚生労働大臣許可 職業紹介(許可01-02-ユ-0006)(派遣許可(般)01-02-0017)

許可創業47年 **株式会社 函館マネキン**

※若いキャンペーンスタッフを揃えています！

函館市万代町11-20 ☎(0138)-41-7622(代)

(広告掲載：中川 洲平 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【4月26日現在のアクセス数：11475件(+28件)】

◎4月6日出席報告 (小河 博保 副委員長)

会 員	24名	出席率対象会員	22名
		出席規定免除会員(a)	1名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	15名	当日欠席	7名
他クラブ出席	6名	出席合計	21名
出席率		95.45%	

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・5月4日 プログラム	祝日休会	5月11日 通常例会
------------------	------	---------------

2010～2011〈第2286回例会〉第37号

4月20日の記録

◎司 会 阿部 誠太 会長 ◎齊 唱 それでこそロータリー、四つのテスト

◎ゲ ス ト 臨海研究所(企画部企画管理課) 藤田 秀樹 氏

◎会長報告 阿部 誠太 会長

○4月15日(金)10・11グループ第5回会長幹事会が開催されました。

○理事会報告

- ・台湾(台北東北ロータリー)より200,000円、北ロータリーBOXより31,705円を東日本大震災義援金として送金いたしました。

◎幹事報告 増山 正 幹事

○次週の例会は、時間を変更しクラブアッセンブリー並びに夜間例会を開催いたします。

○和歌山城南RCより会報が届きましたので回覧いたします。

○5月2日(月)函館亀田RCの例会は自主休会に変更です。

○既にご案内いたしましたが、当クラブ5月18日の例会は22日(日)に変更し開催いたします。

◎親睦活動委員会 小河 博保 委員長

ニコニコBOX投入報告

森 会員・小笠原会員・山下(宜)会員・斎藤会員……ニコニコBOXに協力。

渡部会員……小河会員、会報よろしく申し上げます。

◎市役所出前講座「函館国際水産・海洋都市構想について」

臨海研究所(企画部企画管理課) 藤田 秀樹 氏

国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点都市の形成を目指す

一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構

函館国際水産・海洋都市構想の概要

函館は、対馬海流・リマン海流・親潮の3つの異なった海流が流れ込む恵まれた地理的・自然的条件にあり、水産・海洋に関する多くの学術研究機関や関連産業が集積しています。

「函館国際水産・海洋都市構想」は、当地域のこのような水産・海洋に関する様々な資源やポテンシャルを活用することにより、国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点都市を形成し、もって、我が国の科学技術の高度化に貢献するとともに、革新技術・新産業の創出による地域経済の活性化を目指して平成15年3月に策定され、以来、地域の産学官が一丸となって構想推進に取り組んでいます。

函館の新たなまちづくり ナポリ・はこだて・ウッズホール

函館は、夜景や異国情緒漂う街並みが魅力の国際観光都市です。

また、対馬海流・リマン海流・親潮(千島海流)の3つの異なった海流が流れ込む津軽海峡に面しているなど、地理的・自然的条件に恵まれているほか、北海道大学大学院水産科学研究院をはじめと

する多くの学術研究機関や水産・海洋関連産業が集積するなど、水産・海洋に関する研究を行ううえで他地域にはない環境が整ったまちです。

こうしたポテンシャルの活用と産学官の連携を強めることにより、先端的で独創性の高い研究や革新技术の開拓など、マリンサイエンス研究分野で世界をリードする「学術研究拠点都市」を形成します。

『函館国際水産・海洋都市構想』は、イタリアのナポリやアメリカのウッズホールのような国際的な水産・海洋都市を目指すための函館の新たなまちづくり構想です。

基本方針

- ①水産・海洋に関する学術研究機関の充実および誘致
- ②北海道大学大学院水産科学研究院の研究機能の充実
- ③水産・海洋関連産業（水産業、水産加工、造船機械金属、海運）と学術研究機関との連携強化
- ④水産・海洋関連企業の誘致および起業化
- ⑤学術研究と融合した観光の振興

主要施策

- ①水産・海洋に関する学術研究機関の集積
- ②地域と学術研究機関の連携
- ③観光と学術研究の融合
- ④水産・海洋と市民生活の調和

